

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	日向魅力アップ事業			事業番号	21-102
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	経済環境部	辻 雅弘	商工観光課	大町 徹	

計 画 (Plan)					
総合計画体系	活力	まちづくり目標	3	個性豊かで活力あるまち	
		基本政策	6	産業の活力があふれる元気なまちづくり	
		施策展開の方向	2	多くの人が訪れる賑わいのあるまちをつくる	
		施策	21	伊勢原ならではの観光魅力づくり	
予算事業名	日向魅力アップ事業費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務    (選択してください)→			法令上の位置づけ	実施する規定はない
事業開始年度	開始年度	平成13年度	～	終了年度	-
関連法令等	-				
国・県の計画等	-			計画期間	-
関連個別計画	-			計画期間	-
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	新東名高速道路、国道246号バイパスの整備や(仮称)伊勢原北インターチェンジの建設など、広域幹線道路の整備による交通アクセスの向上が予測されることから、広域からの集客など、観光を振興していく上で様々な波及効果が期待されており、首都圏近郊の魅力ある観光地づくりが求められています。				
目的 (何をどうしたいのか)	豊かな自然環境と歴史・文化遺産を活かした観光拠点や散策路を整備することにより、観光客を誘客することで観光振興、地域活性化を図ります。				
主な対象 (誰・何を対象に)	市内外から日向を訪れる観光客等				
事業内容 (手段、手法など)	・日向地区の観光資源を題材とした企画イベントの開催、歴史・遺跡巡り観光パンフレットの作製と、日向薬師大規模修理の完成を受け、観光基盤のインフラ整備に取り組みます。				
事業行程	項目	年度			
		28年度	29年度		
	企画イベントの開催	5イベント開催	5イベント開催		
	地元との観光振興に係る協議	協議(2回)	協議(2回)		
	歴史・遺跡巡り観光パンフレットの作製	パンフレット作製	パンフレット作製		
観光施設等整備・観光PRの検討	観光施設等の整備・観光PRの実施・検討	観光施設等の整備・観光PRの実施・検討			
目 標	【指標名】	【現状】	年度		
			28年度	29年度	
	日向地区の企画イベント数	3回	5回	5回	

 事業実施 (Do) へ

## 事業実施 (D○)

<b>事業の「取組方針」</b> (前年度事務事業評価)	日向薬師宝城坊の改修完了や日本遺産の認定を契機とした観光客の受入促進並びに集客力アップを目指し、観光基礎調査を進め、日向地区の観光振興策の確立に向けた取組を進めることとします。		
<b>実施方法</b> 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> すべて直接実施 <input checked="" type="radio"/> 左記以外		
	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	<b>委託先又は指定管理者</b> 株式会社ケー・シー・エス
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金		<b>補助先</b> (一社)伊勢原市観光協会
	<input type="checkbox"/> その他		<b>具体的内容</b>
<b>実施結果</b>	<b>項目</b>	<b>年度</b>	
		<b>28年度</b>	<b>29年度</b>
	企画イベントの開催	5イベント開催	5イベント開催
	地元との観光振興に係る協議	協議(2回)	協議(5回)
	歴史・遺跡巡り観光パンフレットの作製	パンフレット作製	パンフレット作製
観光施設等整備・観光PRの検討	観光施設の整備・観光PRの実施・検討	観光施設の整備・観光PRの実施・検討	
<b>実施した取組の内容</b>	委託事業として、日向地区の観光資源の洗い出しや地元住民等との意見交換を反映した今後の観光の在り方を提案する「日向地区観光基礎調査」を実施しました。また、地元との観光振興に係る協議は、「たかべや緑の里振興会(1回)」及び「日向地区観光基礎調査業務(4回)」にて実施しました。		
<b>目標の達成状況</b>	<b>【指標名】</b>	<b>【現状】</b>	<b>年度</b>
			<b>28年度</b>
			<b>29年度</b>
	日向地区の企画イベント数	3回	5回

年度		28年度 実績				29年度 実績			
<b>事業費合計 (a)</b>		6,660	千円	3,443		千円			
内訳	国県支出金 ①	1,928	千円	828		千円			
	地方債 ②	0	千円	0		千円			
	その他特財 ③	0	千円	0		千円			
	一般財源 (a)-①-②-③	4,732	千円	2,615		千円			
<b>国県支出金の内容</b>		市町村自治基盤強化総合補助金(828千円)							
コスト	その他特財の内容	受益者負担 <input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		前回の改定時期					
	その他								
人件費	正規職員	0.21	人	1,817	千円	0.25	人	2,183	千円
	その他の職員	0.00	人	0	千円	0.00	人	0	千円
	人件費合計 (b)	0.21	人	1,817	千円	0.25	人	2,183	千円
<b>トータルコスト (a)+(b)</b>				8,477	千円			5,626	千円
単位当たりコスト	対象数	日向地区観光客数		単位	日向地区観光客数		単位		
	定義								
	対象数	153,383	人	151,371		人			
総事業費 / 対象数		55	円	37		円			

評価 (Check)へ

評 価 (Check)				
<b>進捗状況</b> [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	日向地区への誘客イベントや登山道修繕など、当初計画どおりのスケジュールで実施しました。
<b>実施水準</b> [選択・記入]	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市の事業内容等	一律に比較できない事業であると考えられます。
<b>有効性</b> [選択・記入]	<input type="radio"/> 高い (A) <input checked="" type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	B	左記判断理由	多客期による誘客イベントや登山道及び散策路の補修修繕を継続して実施することで、さらなる来訪による観光振興や地域活性化に繋がっているものと考えられます。
<b>効率性</b> [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	委託事業の観光基礎調査業務において、受注者だけでなく、地元住民や関係団体、交通団体等の意見を反映しながら、地域の課題や今後の在り方について効率的に進めることができました。


 取組の改善 (Action)へ

取組内容の改善 (Action)	
<b>事業推進上の課題</b>	隣接する大山地区や七沢地区(厚木市)などの他地域の観光資源を相互に連携し、多様な魅力を提供できる広域的な観光拠点づくりを構築することが必要です。また、多客期には慢性的な駐車場不足と狭隘な道路状況により交通渋滞を引き起こしていることから、これらを解消する交通対策が必要であると考えます。
<b>次年度以降の取組の方向性</b>	日本遺産の認定や日向地域に点在する歴史的・文化的資源を活用した魅力アップと誘客の促進に向けて、観光基礎調査結果等を参考に、地元や教育委員会と連携しながら日向地区の観光振興策の確立に向けた取組を進めていきます。
<b>所管部長による総評</b>	県内外に向けた誘客イベントの発信や公衆トイレの改修などの受入体制の強化による日向地区の魅力アップ事業は継続して進めていくとともに、大山・比々多地区との周遊ルートの構築を図り、観光客の滞在時間の延長と観光消費額の増に繋がる取組を進めていく必要があります。